

Libella りべら

持続可能な未来をみんなでつくる

vol.163
2023.10

りべら
VOL.163
2023.10



〈表紙の作品〉
「TERMINAL」(大所帯非楽器アンサンブルPOLY!, 2023)
2023年3月25日~4月3日に開催された西淀川アートターミナル(NAT)企画展「い・き・の・ね -VERSE TERMINAL-」
(大所帯非楽器アンサンブルPOLY!・今・今・嶋田見土、展示企画・キュレーター:イルボン(gallery yolcha))にて

特集

地域の交通をグリーンに!

- ・西淀川の空気がきれい! 交通との関係は?
- ・大きく変わる自転車を取り巻く環境
- ・コロナ禍後の英国の交通政策はどう変わったか? -歩行者・自転車計画について-
- ・西淀川におけるハローサイクルの現状や課題、将来の方向性
- ・地域の公共交通はどこに向かうのか -公共性の議論の必要性-
- ・廃食用油が燃料に! -廃食用油回収で創る循環型社会-

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪府西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階

あおぞらフォトギャラリー



西淀川区役所にて小学生を対象に「にしよど防災かるた大会」を開催しました。参加者は全部で50人で大盛り上がり。遊びながら防災について学びました(主催:にしよど親子防災部(事務局:あおぞら財団))(2023.8.10)



矢倉緑地・緑陰道路探鳥会を開催。今回見れた鳥は全部で24種類。この時期には珍しいカムリカイツブリを観察できました。何らかの理由で北に渡りそこねてしまったうっかりやさんのようです。(日本野鳥の会大阪支部・小野款司さん撮影)(2023.8.26)



にしよど音楽祭2023第1弾「ピアノカの魔術師」。ピアノカのイメージがガラリと変わる、驚きと感動のエンターテインメントショー。舞台と客席が一体となって音楽を楽しみました。(2023.8.3)



おもしろいわ 西淀川

SNSで発信中!



7月29日は「あおぞらの日」!
西淀川大気汚染訴訟の和解が成立した日です。

「手渡したいのは青い空」

1960、70年代はスモッグでくすんでいる空が当たり前でした。未来の子ども達に青空を手渡せるように願って、7月29日は「#あおぞらの日」をつけて青空を投稿しましょう! #あおぞらの日

西淀川区魅力発信サポーター事業と連携



1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978~1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

【あおぞらビル】

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」

会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。
午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)

西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。(環境教育等促進法にかかる「体験の機会の場」認定施設)

開館日 月曜日と金曜日(10:00~17:00)/要事前電話予約

※いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

【会員・寄附募集】

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

- 賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などを送ります。
【年会費】個人:年一口5,000円、学生:年一口2,000円、法人・団体:年一口10,000円

● 会費・寄附の振込先

【郵便振替口座】記号・番号:00960-9-124893/加入者名:あおぞら財団
【ゆうちょ銀行】金融コード:9900/店番:099/預金種目:当座
/店名:0九九店/番号:0124893/名義:あおぞら財団
【三菱UFJ銀行】歌島橋支店/普通/372858/財)公害地域再生センター
これまでご案内しておりました、三菱UFJ銀行と口座が変わっておりますので、ご注意ください。

地域の交通をグリーンに！

西淀川の空気が きれいに！ 交通との関係は？



図：環境ロードプライシング(出典：阪神高速道路株式会社)

かつては交通の発展に伴い排出ガスや騒音などの「交通公害」が深刻な時代がありましたが、最近では、「2030年ガソリン車販売禁止」、「電気自動車への転換」といったカーボンニュートラルに向けた対策をはじめ、グリーンな(環境にやさしい)交通になりつつあります。今回の特集では、交通と環境の関係やグリーンな交通施策である自転車や公共交通の「今」に迫ってみました。

公害の町が青空に

西淀川は公害の町とも言われ、空は暗く、日中でも車はライトをつけて走行していたほど大気が汚染されていました。工場による煙とディーゼルトラックの排気ガスが混じり合って複合大気汚染となり、多くの公害患者が発生しました。今では、空気が澄んで青空が広がっています。本当に西淀川の環境はよくなったのでしょうか？

PM2.5は環境基準未滿に

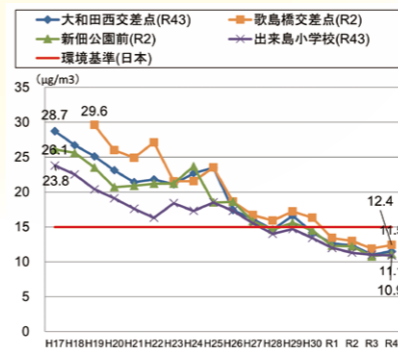
西淀川の大気汚染の状況をみてみましょう。

二酸化窒素(No₂)は2006年度までは環境基準の上限値を超えている地点もありましたが(出来島小学校局の年平均値の年間98%値・0.064ppm)、徐々に濃度が下がっています。二酸化窒素の濃度は「1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下」。2022年度、西淀川区で最も濃度が高い出来島小学校測定局では0.041ppmとなっており、まだ環境基準値の下限値をクリアできていないという状況です。

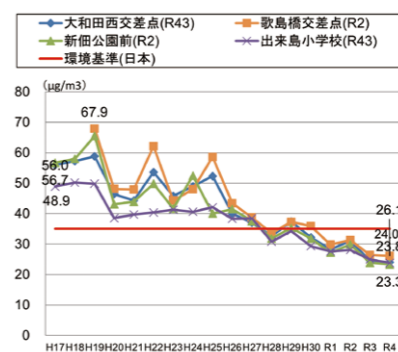
微小粒子状物質(PM2.5)は西淀川で測定を開始した2005年頃は環境基準を大きく上回っていましたが、4年前から環境基準値を

下回っています。

西淀川の大気汚染については、かなり改善しつつありますが、「きれいになった」とはつきり断言できる状況ではありません。



図：西淀川区のPM2.5の推移(年平均値)



図：西淀川区のPM2.5の推移(24時間値)

西淀川の街中を通る大型車は減少中！

西淀川の大気の改善に、次の2つの交通に関する状況が影響を与えたと思われる。

一つは、西淀川の街中を走る大型車の台数が減少傾向にあることです。2000年代には国道43号を通行する大型車は約2万6千台/日でしたが、2020年代に入ってから2万台/日を切っています。また、3号神戸線から5号湾岸線に転換する大型車も増えています。

これは2001年から行われている「環境ロードプライシング」という施策の影響です。並行する有料道路の路線間に料金格差を設けることで、都心部への交通流入を抑制する政策で、阪神高速では5号湾岸線を通行する大型車の割引率を30%としています。西淀川公害裁判の和解条項に基づく西淀川道路連絡会で検討された政策です。

さらに、現在、阪神高速では長寿命化のために14号松原線にて長期間の終日通行止め工事を行っています。そのため、迂回ルートとして湾岸線の交通量が増えています。工事後も、このまま湾岸線の利用が続き、街中の道路に戻らない可能性もあります。

もう一つは、自動車NOx・PM法による車種規制です。この法律に基づいて、大都市圏では大気汚染物質の排出量が少ない車種しか使用できません。以前は自動車NOx・PM法適合車には



自動車NOx・PM法適合車のステッカー

青いステッカーが必ず貼ってありました。が、非適合車の流入が1%未満になる等の大きな効果があつたので2017年表示義務が廃止されました。この車種規制によって、1台あたりの大気汚染物質の排出量が減少し、全体の大気汚染物質も減少しました。

西淀川の交通はグリーン？

さて、今の西淀川の交通はグリーンになったといえるかという点、まだまだ足りないと感じている人は多いのではないのでしょうか？

グリーンな交通施策の代表である公共交通に関して、西淀川は大阪市内の他区に比べると不便であり利用も少ないという現状があります。

2014年に歌島橋バスターミナルが廃止されバスは減便になり、公共交通で東西を移動するのは不便だという声もよく聞きます。大阪市内の他区と比べても、公共交通の分担率は低く(平日で23.9%)、自動車の分担率が高くなっています(平日で17.7%) (第5回近畿圏パーソントリップ調査結果)。

しかし、よりグリーンな交通手段である「自転車」については、明るい動きもあります。西淀川区内にはもともと「大野川緑陰道路」をはじめとした自転車道ネットワークがあり、最近ではシェアサイクルの導入が進みつつあります(P7参照)。国道の自転車道の整備が進まないといったこともありますが、西淀川区内の自転車環境は改善しつつあります。

西淀川の交通が「グリーン」になる取組み、一緒に考えていきましょう！

【特集】
地域の交通を
グリーンに!



吉田 長裕
(よしだ ながひろ)
大阪公立大学 大学院工学研究科
都市系専攻准教授。学際的なア
プローチで交通安全科学に取り組
んでいる。博士(工学)。

コロナ禍後の 英国の交通政策は どう変わったか？ 歩行者・自転車計画について

パンデミックの影響

パンデミックは、一時的に交通量が半減することにもなりましたが、その後の回復過程では、交通が果たす主要な役割を再確認するとともに、持続可能性に向けたいくつかの潜在的な道筋を示すことにもなりました。ここでは、主に英国の歩行者・自転車計画の動向について紹介したいと思います。

パンデミック中の ビジョンと行動計画

英国では、ロックダウンによって外出が制限された2020年5月に、中央政府が「Network management duty guidance: reallocating road space」を発行しました^{※1}。その内容は、公共空間におけるソーシヤルディスタンスを確保しつつ安全な短距離移動を支援するために、



写真-1 キングスクロス再開発地区のパブリックスペース

一時的な自転車レーン、歩道の拡幅、バスと自転車の回廊などの道路空間再配分を地方自治体に対して行うように求めたものです。これを受けて、2020年7月に策定されたイングランドを対象とした中央政府によるビジョンと行動計画「Gear change: A bold vision for cycling and walking」では、自転車利用と歩行に関する施策を緊急的に支援するためのテーマと予算が示されました^{※2}。この計画を実行した結果、自転車利用は46%

自転車利用・歩行投資戦略

具体的にみていくと、パンデミックの前から、健康問題等への対策として、歩行及び自転車利用の推進が図られ、2017年4月の第1次自転車利用・歩行投資戦略^{※6}に続き、2021年5月には第2次自転車利用・歩行投資戦略^{※7}を策定し、2025年まで

達成すべき以下の4つの目標が示されました。

- 街や都市における短距離移動のうち、歩行や自転車で移動する割合を2018年から2019年の41%から2025年の46%に引き上げる。
- 徒歩による活動を増加させる。
- サイクリングを2倍にする。
- 5歳から10歳の子どものうち、徒歩で通学する人の割合を、2014年の49%から2025年に55%にする。

自転車インフラに関する技術基準の更新

自転車インフラに関する技術基準についても大幅な見直しが行われました。幅広い利用者層に対して高品質の自転車インフラの提供を支援するために、あらゆる年齢や能力を持つ人々に配慮した「インクルーシブ・サイクリング」を基本テーマとした「Local Transport

Note 1/20: Cycle Infrastructure Design」が2020年7月に更新されました^{※8}。この中では、5つの包括的な設計原則：連続性 (Coherent)、直接性 (Direct)、安全 (Safe)、快適性 (Comfortable)、魅力的 (Attractive)と22の要約原則が、地方自治体が推奨すべき、道路空間の再配分を含めた自転車インフラ基準のポイントが整理されました(写真、2)。



写真-3 CYCLOPS交差点 (2022年9月)

おわりに

2022年9月に現地を訪問したところ、パンデミック中の自動車交通量が減ったタイミングに道路空間再配分とともに歩行者空間や自転車通行空間を確保された場所をあちこちで確認することができました。また、自転車だけでなく電動マイクロモビリティなども運用されていました。その過程を調べると、道路空間に関する合意形成など様々な困難を経験してきたようで、将来の目標に向かって既存の道路空間の使い方を変えていく方策は必ずしも計画通りに進んでいるわけではないようです。それでも、都市の道路空間の使い方は、新たな生活様式に対応したものへ着実に進歩していると言えるでしょう。

マンチェスターでは、LTN 1/20の設計要件を満たした Cycle Optimised Protected



写真-2 ロンドン市内の道路空間再配分事例

Signals: CYCLOPSとよばれる信号交差点が2020年に導入されました^{※9}。この信号交差点の特徴として、自動車からの通行時間・通行空間の分離が図られています(写真、3)。また、道路両側一方通行の自転車道とバス停も交通島を使って分離されており、どのような自転車利用者であっても安心して通行できるようなネットワークと通行環境が整えられつつあります。

※1 The UK Government: Network management duty guidance: reallocating road space (2020).
 ※2 Department for Transport: Gear Change: A bold vision for cycling and walking (2020).
 ※3 Department for Transport: Gear change: one year on (2021).
 ※4 Department for Transport: Decarbonising transport: a better, greener Britain (2021).
 ※5 The HM government: Net Zero Strategy: Build Back Greener (2021).
 ※6 Department for Transport: Cycling and walking investment strategy (CWIS1) (2017).
 ※7 Department for Transport: The second cycling and walking investment strategy (CWIS2) (2022).
 ※8 Department for Transport: Local Transport Note 1/20 Cycle infrastructure design (2020).
 ※9 Transport for Greater Manchester: Greater Manchester Interim Active Travel Design Guide (2021).

広告

調理後の油を 無料で回収します!

笑顔で回収に
伺います

50年以上の実績で、
一滴残さず再び資源にリサイクル
資源循環でSDGsに貢献します!

まずはお気軽にお電話ください!
TEL 06-6411-3457

@hamadakagaku

浜田化学株式会社

地域の公共交通は

どこに向かうのか

公共性の議論の必要性

CASEは 公共交通の切り札?

国土交通省は、国民意識調査の結果から、「公共交通の利便性」や「日常の買い物利便性」が重要な項目として指摘しており、公共交通の利便性確保が重要な政策課題と指摘しています。この背景のもと、CASE(情報通信技術を用いた高度な交通、自動運転、自動車などの共有化、電動化)の文脈において、交通革命が叫ばれるようになりました。

盛り上がるCASEやMaaS

Connectivity(接続性)の「C」	(C)
Autonomous(自動運転)の「A」	(A)
Shared(共有)の「S」	(S)
Electric(電動化)の「E」	(E)

地方の交通会議でお出かけの足の確保を議論する際に、CASEを背景とした高度な交通の導入により問題解決を求める意見を受けることが多くあります。しかし、これらの技術を用いても、利便性の問題を解決し難いと思います。たとえば、自動運転が導入されて



猪井 博登
(いのい ひろと)
富山大学学術研究部都市デザイン学系准教授

も事故などがゼロの実現は難しく、発生する事故の責任の所在を求める必要があり、だれが責任を負うのかについての議論が解決を得ておらず、また、高度な車両設備や3Dマップが必要で導入の妨げとなっています。電動化においても給電・充電インフラの整備が必要ですので、費用負担が過大となり、モビリティの改善をはかれない結果になっています。

地域の公共交通の 公共性の再定義が重要

このような現状においては、地域において公共性を再定義できるかが重要です。公共交通における公共性について、最低限の文化的な生活を維持するためには必要な外出を維持するシビルミニマムのサービスを提供するという文脈で議論され、現行の制度も作られています。しかし、住民の求める利便性の向上は、シビルミニマムにはとどまりません。シビルミニマムでは住民の求め

る質の高い生活を求める公共交通は「ぜいたく品に過ぎないと断じかねず、ニーズとの乖離を生じています。そのため、シビルミニマムの議論にとどまらない「公共性」についての再定義が必要で、さらに、公共交通においても、維持・運営には多大な費用が掛かり、民営企業の営業努力だけでは、整備・運営が難しく、地域による負担が必要になります。そこで、「公共性」を議論する際には、費用とどのレベルで納得するかを合わせて考えて再定義することが必要です。

公共性は地域毎に異なる

そのため、地域の負担力、地域の特性が異なるため、「公共性」は地域毎に異なります。地域における維持する生活、どのような交通を支える地域を作るのかという議論が必要となります。筆者が関わった兵庫県佐用町で運行される江川ふれあい号では、この公共性の議論を、町が運営するデマンドサービスを地域が受託するかという形で議論を行いました。地域として、運営の負担のほか、経営や事故のリスクを受けてでも、シビルミニマムを超えたサービスを実施するかを真剣に議論しました。

このような議論をどのように行うべきかには、明確な答えはありません。少なくとも「移動手段を自分で持たない方がどのような生活で困られるか」を議論される方、他の住民の方を知っている方が重要です。思ったと思います。

公共性の議論は 今後の地域の重要な機会に

公共性の議論は、合意を形成するのが大変難しい取組になることが多いと考えられます。しかし、公共性の再定義は、今後、共創が求められる地球環境問題でも必要であり、我々が今後取り組まなければならない課題です。お出かけの足の確保において、公共性の再定義の議論を行うことが、今後の地域に必要なことを経験できる重要な機会であると考えます。

また、人々は、落としどころが見えない場合に参加を躊躇されたりします。冒頭のCASEは、公共性の再定義の際の人々の抵抗感を緩和し、多くの人を取り込める有用なツールとして使っていると信じています。手段、目的を見誤らず、一歩一歩地道に地域に向き合っていくことが肝要だと思います。

大きく変わる 自転車を取り巻く環境

2023年、自転車を巡る環境が変わりつつあります。
今回は、そんな動きのいくつかをご紹介します。

ヘルメットを かぶりましょう

2023年4月1日から施行された改正道路交通法により、すべての自転車に乗る人はヘルメットの着用が努力義務となりました。警察庁では今年7月時点の全国の地域ごとの「着用率」を調査していますが、全国平均の着用率は13.5%でした。関西2府4県では、いずれも全国平均を下回り、和歌山が12.6%、京都が10.5%、奈良が8.3%、滋賀が7.2%、兵庫が6.2%、大阪は4.2%でした。

着用率が最も高かったのは、以前から普及に向けた取り組みが続けてきた愛媛県で59.9%で、地域ごとの差が非常に大きくなっています。警察庁によりますと、自転車乗車中の交通事故で亡くなった方は、約6割が頭部に致命傷を負っており、ヘルメット未着用者の致死率は、着用者に比べて約2.2倍も高くなっています。つまり、転ばぬ先の杖ならぬ、ヘルメットが自転車でこけた時に大事な頭を守ってくれます。皆さん、ヘルメットをかぶりましょう。

電動キックボードも 自転車の仲間?

最近、街中で颯爽と走る姿を見かけることが増えた電動キックボード。2023年7月1日から施行された改正

道路交通法により、一定の要件(最高速度が20km/h以下など)を満たす電動キックボードは「特定小型原動機付自転車」となり、条件付きで歩道・路側帯の通行が可能(歩道は時速6km以下)、免許不要、ヘルメット着用が努力義務、16歳未満は運転禁止、等となりました。走行場所は自転車とほぼ同様となることから、互いに交通ルールを守って安全に走行したいですね。



タンDEM自転車、 全国で走行可能に!

皆さん、ご存じでしょうか?二人で漕いで進む「タンDEM自転車」が2023年7月1日より、東京都下でも公道走行が解禁となりました。これで、全国47都道府県すべての地域で公道走行が可能になりました。以前は、自転車の「二人乗り」禁止条項により乗ることができなかったのですが、一人では自転車に乗ることが難しい視覚障がい者などの声により、少しずつ活動が広がってきました。あおぞら財団でも、2009年よりタンDEM自転車の普及活動を進めてきており、大阪府は2016年に解禁されています。今後安全に、ますます活用していけるよう取り組みを続けていきたいと思えます。

広告

デイサービスセンター

あおぞら苑



あおぞら御膳



あおぞらの湯

【お問い合わせ】

TEL : 06-6475-0111 FAX : 06-6475-0114

URL : <http://aozoraen.com/>

運 営 : 社会福祉法人 あゆみ福祉会

◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号

開所曜日:月曜日~土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771002173)

〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号

開所曜日:月曜日~土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日25人

2006年10月1日にデイサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがデイサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

廃食用油が燃料に！

廃食用油回収で創る循環型社会

浜田化学株式会社

西淀川区の佃地域を中心に設置されている「廃油回収所」ののぼり。
 西淀川区の菜の花プロジェクトの一環でスタートしたこの取り組みは、一般家庭から排出された廃食用油の回収スポットとして、長年多くの地域住民の方にご協力いただき、これまで大半が廃棄されていた家庭廃食用油の回収に取り組んでまいりました。日頃ご協力いただいている皆様、いつも本当にありがとうございます。



「菜の花プロジェクト」は、地域の空き地や休耕地で菜の花を育て、収穫した菜種油を料理に使った後に廃食用油と一緒に回収し、環境にやさしい代替燃料としてさらに利用しようという循環型社会構築に向けた試み。回収した廃食用油から精製されるバイオディーゼル燃料は、軽油の代替燃料として二酸化炭素の排出削減につながるだけでなく、従来の軽油と比較して硫黄分酸化物(SOx)をほとんど含まず、燃焼後の排気ガスに含まれる黒煙が少ないため、大気汚染防止にも役立ちます。

全国で年間約10万トンが排出され、うち約9万トンが廃棄されているという一般家庭の廃食用油。西淀川区ではこれまでに、一般家庭から排出された約58,766Lの廃食用油を回収させていただきました(2009年度~2022年度実績)。これをバイオディーゼル燃料として軽油使用時の二酸化炭素排出量と比較すると、1Lあたり約2.619kg^{*1}の二酸化炭素排出削減効果になり、地域と連携した持続可能なまちづくりのモデルとしてカーボンニュートラル社会の実現に貢献しています。(*1環境省HP引用)

SDGs達成の目標年である2030年に向けて、2025年大阪・関西万博は「SDGs万博」とも呼ばれ、各地で取り組みが加速するなか、廃食用油のリサイクルに関しても、バイオディーゼル燃料、ハンドソープなどのほかに、新たに持続可能な航空燃料(SAF^{*2})や生分解性プラスチックへのリサイクルが可能になるなど、廃食用油リサイクルの可能性は拡がり続けています。

ご家庭で排出した廃食用油が、街を走るバスのクリーンな燃料や、街のお店で使われる環境にやさしいプラスチック製品などに生まれ変わり、地域で資源が無駄なく環境に配慮されたかたちで循環する。西淀川区を起点に、大阪・関西、そして全国のモデルケースとなるような、豊かで持続可能な街づくりにこれからも取り組んでまいります。

ご家庭で出る少量の廃食用油でも、捨ててしまうのではなく資源としてリサイクルする。このひと手間が持続可能な社会の第一歩につながります。廃食用油の回収リサイクルに、ぜひ今後ともご協力よろしくお願いします。

*2 Sustainable Aviation Fuel. 廃食用油や食物、廃材などを原料とする持続可能な航空燃料

PROFILE

人と循環で世界を救う、浜田化学株式会社です。使用済み食用油を回収し、ハンドソープやバイオディーゼル燃料などの資源にリサイクル。資源を無駄なく循環させ、持続可能な社会を実現します。

特集 地域の交通を グリーンに！

西淀川における

ハローサイクルの

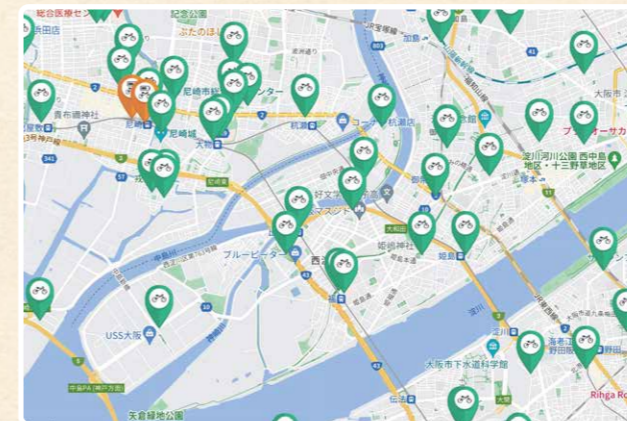
現状や課題、

将来の方向性

最近、大阪市内でよく見かけるようになりました「シェアサイクル」色々な企業が運営をしています。2018年5月より運用を開始したのがドコモ・バイクシェアです。そのドコモに対抗しソフトバンク系のOpenStreetがHELLO CYCLINGというシェアサイクルを開始したのが2018年12月です。更に3番手として、2021年に登場したのが、電動キックボードのシェアリングサービスのLUUPです。自転車の色で見ると分かり易いです。赤色がドコモで黄色がHELLO CYCLING、緑がLUUPです。

しかし、展開エリアでは大きな違いがあり、ドコモ、LUUPは大阪市内の環状線以内などに限定しており、淀川より北側、北摂地域に大きく展開しているのはHELLO CYCLINGのみです。現在、西淀川区では13か所のシェアサイクルのステーションがあります。一番稼働数が多いステーションは歌島橋交差点のヤナセ前です。17台のシェアサイクルのラックがあり、最近の2023年7月1ヶ月間で266回の利用がありました。換算すると1日に約9回、シェアサイクルが利用されています。西淀川区13か所全体で見ると、この7月は月間1715回利用がありました。隣の淀川区は新大阪という大阪の玄関駅がありますので、西淀川区の約3.6倍の月間6183回の利用でした。淀川区には21か所のシェアサイクルのステーションがありますので、西淀川区にも更に10か所以上のステーションが欲しいところです。十三駅(淀川区)、塚本駅(西淀川区)の近くにシェアサイクルの設置場所が

できれば、一気に利用者は増えたと予想されます。西淀川の観光資源である「矢倉緑地」や「緑陰道路」この拠点拠点にもステーションが欲しいところです。11月の矢倉緑地でのイベントで区役所も一緒になって、シェアサイクルの認知度アップと利用を促進するために矢倉緑地に臨時シェアサイクルステーションを設置し、区民に呼び掛けることも予定されています。



西淀川区シェアサイクルマップ



川辺 友之
(かわべ ともゆき)

株式会社パーシヴァル代表取締役

PROFILE

1971年大阪生まれ。クラウドファンディング活用のコンサルタント。2013年よりクラウドファンディングを研究し、家業の紳士服メーカーをクラファン活用で事業再生をする。現在、CAMPFIREやMakuakeのパートナーになり、中小企業や団体のクラファン活用や経営課題解決のサポートしている。更に2020年よりOpenStreet株式会社と業務委託契約をし、地域のシェアサイクル普及事業を進めている。

日韓家庭料理居酒屋 ツインズ



夕暮れ時、千舟3丁目の街並みに、桃色の看板が目を引く「ツインズ」さんは、2021年夏・コロナ禍に喫茶店から居酒屋に生まれ変わった、韓国家庭料理が気軽に楽しめるお店。

在日三世の店主・雅子さんが「オモニ(お母さん)の料理が大好きで、ほんとおいしいんです。それでお店を開こうと思ったんです」と仰る通り、どの料理もおいしくて、つついとおなか一杯に。お薦めメニューは、自家製のタゲギが決め手の「スンドゥブ」、自家製タレをつけて食べる「カリッと豚チヂミ」など、自家製と名の付く料理はどれも一回食べてみて〜。

19時までに入店するとハッピーアワーで安く飲めるのも魅力的。ぜひ、お立ち寄りください。🍷

住所：西淀川区千舟3丁目8-9
営業時間：18:00~23:30(入店は21:00まで)
定休日：日・月曜、祝日
TEL:06-6472-6777
HP:https://twins-chibune.owst.jp
Instagram:@twins_chibune



ファラッフェル タイム

JR塚本駅からすぐのイスラエル料理のお店。元気でノリの良いイスラエル人のご主人と、気さくな日本人の奥様で切り盛りされています。

人気メニューは、ひよこ豆をすり潰したコロック『ファラフェル』。イスラエル料理ってどんなのだろう?と不思議な気持ちで食べましたが外はカリッと、中はホロホロとしてスパイシーなソースとよく合い美味しかったです。お肉は入っていないにもかかわらず、予想以上にお腹いっぱいになりました。お酒にあいそうなメニューもたくさん。夜に行くのもおすすめです。🍷



住所：西淀川区柏里3丁目12-10
営業時間：[月~木]11:00~20:00 [土]17:30~23:00
定休日：金曜日、日曜日
TEL:080-2002-1818



「ただならぬ防災」

西淀川で防災に奮闘している多田君による防災エッセイ

大阪のおばちゃん、災害に強い説

いきなりですが皆さん、備えていますか?
「うちは非常持ち出しバッグ」を用意してるから備えは十分!と思っているそこのあなた。非常持ち出しバッグを常に持ち歩いていますか?

家にいる時に被災すれば、非常持ち出しバッグを持って避難所に行くことができますが、仕事に行く時や遊びに行っている時、非常持ち出しバッグはありません。ではどうするか?バッグがダメならポーチにすればいいじゃない。という事で、被災しても一日はなんとかする防災用品を入れておく防災ポーチが最近人気です。いつものカバンに無理ない範囲でちょっと備えをしておく。入れるものはモバイルバッテリーや筆記用具、簡易トイレにウェットティッシュ、常備薬、閉じ込められた時居場所を知らせるホイッスル、そしてちょっと口にできるものなどなど、、、ちょっと口にできるもの。そう、あめちゃんですね。

他のお菓子でも大丈夫です。1日何も食べれないより少しでも口にできるものがあるだけで全然違います。そして「あめちゃんあげるわ!」この優しさを災害時にも持ち続けたいものです。

ここで皆さんのカバンの中身を見てみましょう。あめちゃんが入っていた人、あなたは防災力高めです。ぜひ、それを発展させて防災ポーチを作ってみませんか?



多田 裕亮(ただ ひろあき)
防災士。明石工業高等専門学校在籍時から防災団の立ち上げに関わり、防災ゲームを開発。大学進学後は「大阪防災プロジェクト」を設立。淀川右岸水防団に所属。

新任教員として
大気汚染のひどい
西淀川区に赴任

伊藤さんは1972年春に大阪市の小学校の教員に採用されました。採用面接で「公害で苦しんでいる子ども達の支援を」と意向を伝えたところ、甚大な大気汚染公害被害に苦しんでいた西淀川区の大和田小学校において教員生活を始めることになります。通勤時、千船駅に降りると、

にしよど無料塾を主宰している伊藤先生に西淀川の大気汚染および無料塾についてお話を聞きました。



にしよど無料塾主宰
伊藤 孝先生

西淀川 記憶 あつめ隊 vol.27

2023年8月25日ヒアリング

晴れていても大気汚染で「空が暗い」と感じていたそうです。川は腐ったような悪臭を漂わし、工場からは化学薬品の臭いが流れてきたり等、公害による汚染がそこかしこに広がっていました。児童にも多くのぜんそく患者がいました。西淀川区に赴任してぜん息患者になった教員もいました。「運動場の朝礼台に立つと、整列した列の後ろの子たちが(大気汚染で)霞んで見えた」と話されるほど、大気汚染が学校生活に入り込んでいました。

小学校で行われていた
公害に対する取り組み

大和田小学校は1969年に大阪府・市教育委員会の公害対策研究学校の指定を受けており、伊藤先生が赴任する前年まで3年間行われていた。「公害」と題した児童文集を作成したり、社会科では公害がなぜ発生したのかを、保健体育では公害が健康に与える影響を学んだり等教科を横断した取り組みがなされていました。教室には大きな空気清浄機や扇風機が設置されたり、ストーブが石

炭からガスに変わったりと、設備の整備も進んでいました。他にも乾布摩擦や肝油ゼリーの服用なども行われていました。「大和田小の取り組みを見るために、全国からたくさんの方が見学に来ていた」と、先輩の先生方が語っておられたそうです。

伊藤先生が
クラス文集に
掲載した
「乾布摩擦の歌」

児童文集「公害」
(発行：大和田小学校)

子どもたちの学びの
格差をなくしたい

現在、伊藤先生は、無料で子どもたちに勉強を教える「にしよど無料塾」を主宰しています。

伊藤先生は、教員生活を続けていくうちに、子ども達の間で格差が広がっているのを感じるようになりました。「塾に通っている子どもが増えているが、貧困のために勉強したくても勉強できない

子もいる。そして、勉強ができないから、なおのこと勉強をしなくなるという悪循環に陥っている」。

定年退職後、同じ思いを抱く元教員や淀川勤労者厚生協会、個人宅で無料塾を運営していた保育士との出会いがあり、2014年から「にしよど無料塾」が始まりました。コロナ禍前には多い時に30人程の子も達が学びに来ていました。コロナ禍に入り、2020年秋から場所をおおぞらビル会議室(グリーンルーム)に変えて実施しています。現在の参加者は10人前後です。

無料塾は、「興味本位で来る子がいる一方で、本当に勉強したいと思ってきている子がいる。学校の教育とはまるで違う」ため、一人一人の子のニーズに合わせてオーダーメイドで教えていきます。「無料塾をはじめ、教育とはなんぞやというのを突きつけられている」と無料塾ならではの難しさを語ってくれました。地域の方々と力をあわせ、困難な環境にある子ども達の学びを支援したい。強い思いを感じました。

【にしよど無料塾】

- 日 時：毎週金曜日、午後5時から開催
- 場 所：西淀川区千舟1-1-1あおぞら財団3F会議室
- 問合せ：06-6472-6453 (西淀川・淀川健康友の会担当：三本松和也)





エコミュージズ館長：小田康徳

はじめて西淀川区民の健康被害を本格報道

ここに紹介する新聞記事は、『大阪新聞』1967年(昭和42)9月6日付。公害による西淀川区民の健康被害を報道したもっとも早い時期の記事と考えられる。この年4月に西淀中学校に赴任してきた荒木芳太郎校長は、学校の鉄板をボロボロに腐食させている大気汚染に驚き、各種の調査を行なった。そのなかに新聞などのスクラップ集があったが、この記事は、その中に綴じられていたものである。

記事は「よそごとでない 大阪の空」と見出しが打たれている。それは、この年9月に四日市ゼンソクで知られる四日市公害の被害者が裁判に訴えたことを知った記者が西淀川区の状況を改めて取材した成果であった。

「うちの学校では生徒に深呼吸をさせられない。深呼吸すれば、ゴミとばい煙を吸わせるからだ」というのが秋元実保健主事の話聞いた上での記事の書き出しであった。この話に続いては、幼児期にゼンソクで苦しみ、やせ細っていくばかりであった体験を持つ中学1年生の不安、胸部の精密検査を必要とする生徒が増える一方の状況、市内平均よりもうんと狭い平均胸囲、60パーセントがばい煙によるとみられる慢性結膜炎の広がり、昨年から自衛手段として虚弱児クラスを編成したことなど、そのすさまじさが次々と記されていく。

さらに汚染は、香菱地区における電気炉操業に伴う煙害、西島地区の真っ黒いススの降下などが記され、大和田小学校付近における亜硫酸ガスの濃度0.83PPMを超

える汚染の記録、それに車の排気ガスなどがあり、通行中に昏倒した市民が出たとか、吐き気で真っ青になった児童の例などが紹介されている。

スクラップされた新聞の中からは、このような記事が出始めるとともに、西淀川区内の学校関係者からは、先に挙げた荒木校長とか、秋元実保健主事など、自覚的な人物が出始めてくる。公害を仕方がないとあきらめるのではなく、立ち向かおうとする人物と世論が形成され始めたのである。西淀川公害も、ようやく市民が活動する時期に入っていく時期を迎えていたことを見ておきたい。



西淀中学校資料No.148
昭和42年9月6日付 大阪新聞

西淀川・公害と環境資料館エコミュージズ利用のご案内



公害や西淀川地域に関する図書や、西淀川公害公害裁判資料、弁護団や患者会・住民運動などの写真や資料等を所蔵しています。ぜひ一度、お越しください。

◆利用案内 開館時間：月・金曜日 10:00~17:00
web: <http://www.aozora.or.jp/ecomuse/>



映像で伝える「西淀川大気汚染」

あおぞら財団では、今回、西淀川公害に関わった方の生の声を伝えるために、動画を3本作成して、youtubeにて公開しました。いずれの動画も西淀川公害に関わった方々の気持ちが伝わってくる映像になっています。

● 谷智恵子弁護士インタビュー「裁判を動かすのは実際の真実の姿」

谷智恵子弁護士は西淀川公害訴訟弁護団の一人として、西淀川公害裁判に関わり、西淀川公害の深刻で広範な被害の実態を明らかにしました。「裁判所には被害の本当のことを言わないといけない。どんなに苦しいかと言うのを言わないとわかりませんよ」と患者さんに説明して、他の人には教えてくれないようなことまで話してもらったそうです。裁判を動かすためにどのような思いで被害を明らかにしていたのか、また公害裁判の意味について語ってくれました。

●【学生が聞く】西淀川大気汚染公害インタビュー

龍谷大学政策学部清水万由子ゼミの取り組みの一環で、大気汚染公害を深く学べる動画づくりに取り組みました。「公害の深刻さを伝えられるような動画を作りたい」、「制作の過程で自分も公害に対しての思いや考え方を深めていきたい」との思いで作成しています。お話を伺ったのは、西淀川公害患者と家族の会の岡崎さん、事務局長の上田さんのお二人です。

学生ならではの視点でお二人にインタビューをしてもらい、それを動画にまとめていきます。西淀川大気汚染裁判に初めて接する方を念頭に置いて、学生が動画の構成まで考え、エコミュージズの写真なども活用しています。

インタビューの撮影後、「生で聞くことによって、その時の景色などが頭の中で思い浮かべることができた」と話を聴く大切さを語ってくれました。動画は、大気汚染公害の初学者向けの内容になっていますので、授業などで是非活用ください。



西淀川公害裁判
オーラルヒストリー
語り部 谷智恵子さん
(西淀川公害訴訟弁護団)

谷智恵子弁護士
インタビュー



公害患者の岡崎さんに
インタビュー



西淀川公害患者と
家族の会
事務局長上田さんに
インタビュー



医療費の支払でお困りの方 相談下さい。「無料低額診療」実施中！

～「いのちの平等」をめざして～
差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

- ・西淀病院
- ・のぞと診療所
- ・千北診療所
- ・ファミリークリニックあい
- ・姫島診療所
- ・ファミリークリニックなごみ
- ・介護老人保健施設よどの里
- ・在宅総合センターらくらく
- ・社会医学研究所

WHO認証

「地域健康増進支援事業所」
認証施設

看護師・
介護職
募集中！



公益財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp

あおぞら広場

ありがとうございます

(2023年4月～8月 敬称略・順不同)

- お助け ボランティア**

MOKU	片岡 直樹	中村 昌史
渡辺 哲敬	金谷 邦夫	西田 清紀
岡崎 久女	金原 功	新田 保次
	gooddo支援金	八丸 久美子
	グッドウ(株)	藤原 寿和
	切刀 恵美子	松村 暢彦
	澤田 佳宏	宮本 憲一
	嶋田 章	村松 昭夫
	清水 万由子	山岸 公夫
	谷 智恵子	吉村 良一
	TK.Nara	公益財団法人
	榎 章夫	淀川勤労者厚生協会
	中川 眞	Y
	中西 美穂	脇田 武利
- 寄附・寄贈者**

あおぞら市の皆さん
新井 真
石塚 裕子
内田 寛
小田 康徳
甲斐 雅裕
柏原 愛子

あおぞら財団 寄附のお願い

日ごろより、あおぞら財団の活動にご支援とご協力を賜りありがとうございます。みなさまからの大切な寄附を私たちの活動に役立ててまいります。
お振込み以外にも、オンライン寄付サイト「Give One」からはクレジットカード決済での寄附も可能となっております。ぜひ、ご活用いただけますと幸いです。

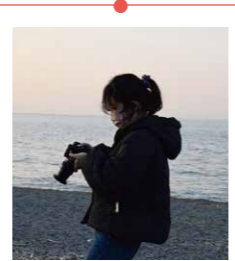
- オンライン寄付サイト Give One (ギブワン)
<https://giveone.net/>
クレジットカード決済・ペイジーをお選びいただけます。
「あおぞら財団」で検索してください。

スタッフツイッター 編集後記

今年の夏は地球沸騰化といわれるほどの異常な暑さ。夏に行った探鳥会では、口を大きく開けてじっとしている鳥がよく見られました。鳥は汗をかかないので、口を開けて水分を蒸発させ、体温を下げています。口を開けている鳥の姿はかわいいですが、暑さに辟易していそうです。

インターン生の声

夏休みの10日間、防災やアート・公害で、イベント運営と広報を行いました。大学でメディアに関わる学びや活動を行ってきたことから、社会でもその経験を活かしてみたい・暮らしに関わることをしたいと思い参加しましたが、関わってみると広報を行えるだけでなく、公害や防災について深く知ることができたというのが参加してよかった!と思えたところでした。西淀川の方々や他大学の方とたくさん関わりながら仕事ができたというのも、なかなか他では味わえない楽しさだったな~と感じています(笑)
実際に社会に関わることもあって、難しいところもありましたが、仕事のやりがいも感じる事ができ、将来こんな風に働けたらな~と深く考えられるようにもなるとても良い経験だったと思っています!



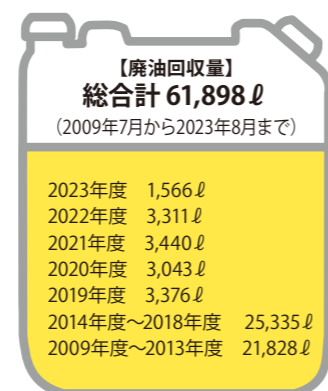
さわらぎ すず
木 涼
(大阪経済大学3年)

「りべら」に広告を掲載しませんか?

年3回発行の「りべら」は、あおぞら財団会員様をはじめ、西淀川の公共施設・店舗など、様々なスポットに配布しています。あおぞら財団の活動にご賛同いただける方からの広告の掲載を募集中です。

【りべら広告掲載費】
中面1/9頁: 1万円/回、中面1/3頁: 3万円/回、中面 全面: 9万円/回
※お問合せ先: あおぞら財団まで TEL06-6475-8885

西淀川菜の花プロジェクト ~エコでつながる西淀川~



現在西淀川区内外約50箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。

エコでつながる
西淀川推進協議会
事務局: 浜田化学株式会社
06-6411-3457

廃油回収先拠点は
こちら▶



りべら No.163 2023年10月号(年3回発行)

発行所: 公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人: 谷内 久美子
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
<http://aозora.or.jp/> webmaster@aозora.or.jp
デザイン: (株)バード・デザイン/ハウス
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

あおぞら財団
Facebookページ
「いいね!」を
押してくださいね。



ぜん息・COPDに関する 電話・メール相談室

広告

環境再生保全機構が運営する「ぜん息・COPD電話相談室」は「ぜん息・COPD」に特化した内容を無料で相談できるものとなっており、全国から毎年1000件近くの相談を受けています。
今使っている薬やこれからの治療など、ぜん息、COPDに関する心配ごとやお悩みごとについて、専門医と看護師や保健師がお答えします。ご本人様はもちろんご家族の症状まで、どなたでもお気軽にご相談いただけます。
電話だけでなくWebでの相談もできますので、ぜん息やCOPDについて疑問や不安に思っていることなどがありましたら、ぜひ一度ご相談ください。



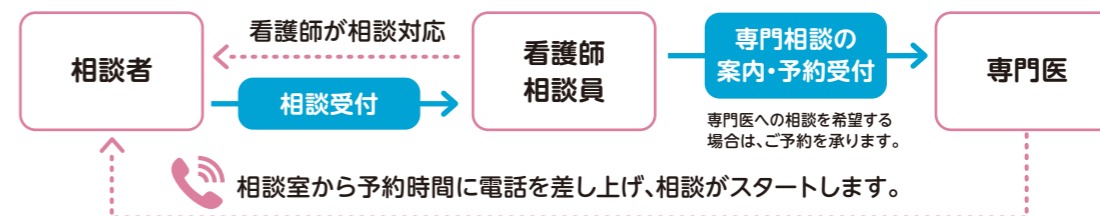
フリーダイヤル: **0120-598014** (こきゅうはい~よ)
受付曜日・時間: 月~土曜日(祝日・年末年始を除く) 10:00~17:00

ぜん息・COPDに関する電話相談室

小児ぜん息・成人ぜん息・COPDの専門医や看護師が無料でお答えします。
ぜん息・COPDに関する心配ごとや悩みごとについて、電話やメールでご相談いただけます。
専門医による電話相談日はホームページ等でお知らせしております。あらかじめ電話で予約をお取りいただくと、専門医相談日の予約時間に相談室からお電話いたします。



相談の流れ



詳しくは **ぜん息 電話相談** | 🔍

またはこちらから
<https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/service/tel.html>



環境再生保全機構は、環境問題に幅広く対応するための政策実施機関として設立された環境省所管の独立行政法人です。
環境再生保全機構では **様々なパンフレットも全て無料で配布しております**。提供しているパンフレットの一覧はホームページからご覧いただけますので、少しでも気になるパンフレットがあればお電話もしくはホームページからお申込みください。
<https://www.erca.go.jp/yobou/pamphlet/form/index.html>



独立行政法人 **環境再生保全機構** TEL:044-520-9504(予防事業部代表) <https://www.erca.go.jp/>